

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

 **本機はDC12Vアース車専用です**
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

フィルムアンテナは、保安基準に従って取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付けや配線をするとき

警告

 **視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

 **分解や改造をしない**
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
分解禁止

注意

 **必ず、付属品や指定の部品を使用する**
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け場所の汚れ(ごみ・ほこり・油)などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

取り付けや配線をするとき

 注意



高温になる場所*に取り付けない

火災や故障の原因となります。

※直射日光やヒーターの熱風などが直接あたるところ

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回す。
- ドライバーなどの先で押し込まない。

振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

 警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

※最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω~8 Ω。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

ご使用になるとき

 警告



故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。



雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

 注意



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

特に、モニター画面の開閉の際にご注意ください。けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

開いたモニターの上に物を置かない

液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて、長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドルリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください。

他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、雑音が出る場合があります。その場合は、本機から離してください。

液晶ディスプレイについて

- 先端が固いもの（ボールペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
- 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。視認性や操作性が損なわれる場合があります。
- タッチ操作中に指以外の部分がタッチパネルに近づくと、触れていなくてもその部分が反応する場合があります。
- ぬれた手や手袋をつけた手で操作しないでください。正常に動作しない場合があります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 直射日光が強く、ダッシュボードが高温になるときは、車用のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、タッチした部分からずれて反応する、画質が劣化したりすることがあります。（使用可能温度：0℃～40℃）
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露（水滴）で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、保護のため画面の明るさを自動調整することがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報（登録ポイントの位置や電話番号など）は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 放送メールなどの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報（登録ポイントなど）は、万々に備えて、SDメモリーカードに保存したり、メモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

地上デジタル放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声がなくなることがあります。
- 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などを近づけると、映像や音声などに不具合が生じる場合があります。本機から離してご使用ください。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 国外で有料放送サービスを楽しむことは、禁止されています。
- 本機の仕様は、ARIB（電波産業会）規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機には、録画できません。

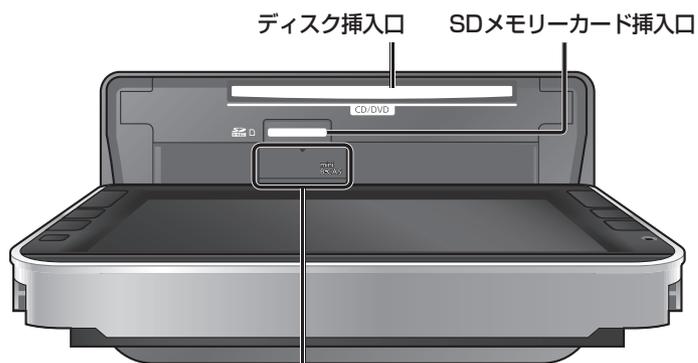
miniB-CASカードの取り扱いについて

- 使用許諾契約約款をよくお読みのうえ、カードを正しく入れ、次のことをお守りください。
 - ・折り曲げたり、変形させない。
 - ・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
 - ・水をかけたり、ぬれた手で触らない。
 - ・IC（集積回路）部には手を触れない。
 - ・分解加工はしない。
 - ・高温になるところにカードを放置しない。（ダッシュボードの上など）

B-CASカードについてのお問い合わせは
 (株)ビーエス・コンディショナルアクセス
 システムズ カスタマーセンター
 TEL 0570-000-250



モニター開



ふたを開ける

溝に爪を掛けて、ふたを前に倒す



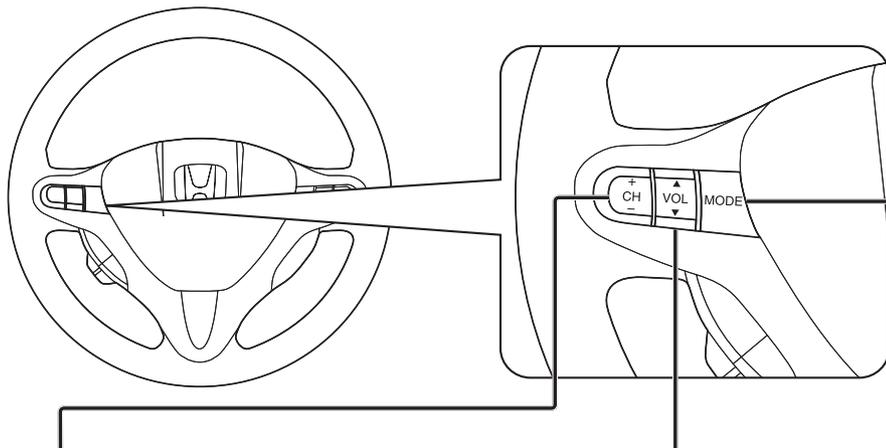
miniB-CASカード挿入口

<p>① TUNE/TRACK <small>チューントラック</small> HDD MUSIC DVD CD SD-Video MP3/WMA iPod BLUETOOTH Audio ◀▶ 頭出し ◀▶ ⌚ 早送り・早戻し SD-Audio ◀▶ 頭出し FM/AM ◀▶ 選局する ▶▶ ⌚ オートプリセット デジタルTV ◀▶ 選局する ▶▶ ⌚ おでかけ初期スキャン ◀▶ ⌚ おでかけ再スキャン</p>
<p>② AUDIO <small>オーディオ</small> ●オーディオ画面に切換 ●オーディオ選択タッチキーを表示 ●⌚オーディオOFF</p>
<p>③ OPEN <small>オープン</small> ●イジェクト画面の表示/消去 ●モニターを閉じる</p>
<p>④ タッチパネル ●タッチ操作時に使用 ●タッチパネルの感度を調整するには→P.169</p>
<p>⑤ VOL <small>ボリューム</small> ●オーディオの音量を調整</p>
<p>⑥ MENU <small>メニュー</small> ●ツートップメニューを表示</p>
<p>⑦ 現在地 ●自転車位置(現在地)を表示</p>
<p>⑧ MIC <small>マイク</small> ●ハンズフリー通話時に使用</p>
<p>⑨ リモコン受信部 ●別売のリモコンの信号を受信 ●下図の範囲内でご使用ください。</p> <p>正面図</p> <p>側面図</p> <p>約20° 約20°</p> <p>約20° 約20°</p>

ステアリングスイッチの操作について

ステアリングスイッチを装着している車の場合、ステアリングスイッチを使用してオーディオ切替、オーディオの音量調整、頭出しなどのオーディオ操作をすることができます。

フィット ステアリングスイッチ



頭出しする

HDD MUSIC	MP3/WMA
iPod	CD
SD-Video	SD-Audio
BLUETOOTH Audio	



を押す

- 「+」を押すと次へ、「-」を押すと前へ頭出しします。

リストから選局する FM/AM

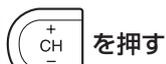
リスト内の放送局を選べます。



を押す

- 選んだ放送局に切り換わります。

順送りでチャンネルを選ぶ デジタルTV



を押す

- チャンネルが切り換わります。

オーディオの音量を調整する



を押す

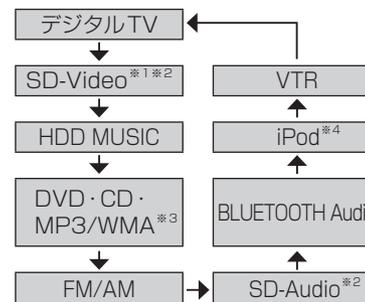
- 押すごとに、音量が1ステップ大きく(小さく)なります。
- 「▲」を押し続けると、1ステップ単位で連続して音量が大きくなります。
- 「▼」を押し続けると、3ステップ単位で連続して音量が小さくなります。(ハンズフリーの音量のみ1ステップ単位で減少)
- デジタルTV、DVD、ハンズフリーの音量は、他のオーディオとは別にそれぞれ記憶されます。

オーディオを切り換える



を押す

- 押すごとに、オーディオが切り換わります。



※1 PHOTOの画面を表示中は、SDビデオには切り換わりません。

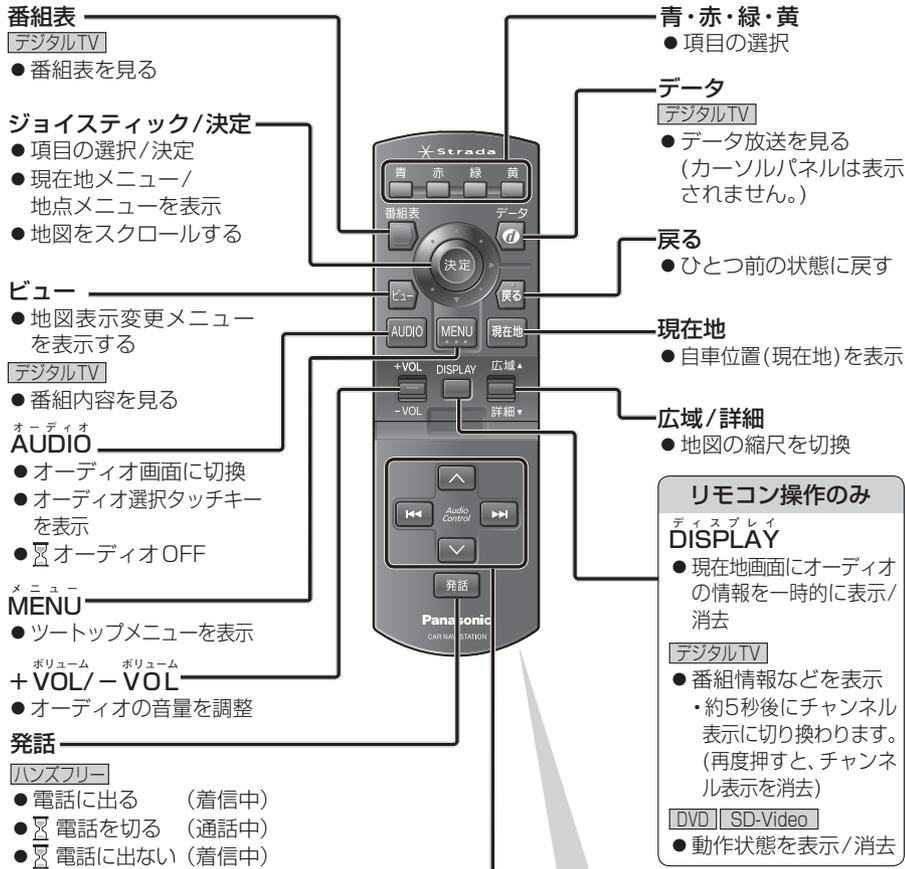
※2 SDメモリーカード挿入時のみ

※3 ディスク(DVD・CD・MP3/WMA)挿入時のみ

※4 iPod接続時のみ

- ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は、オーディオを切り換えることができません。

各部のなまえとはたらき (CA-RM010D)



オーディオコントロールボタン

HDD MUSIC	SD-Video	MP3/WMA ※1
iPod	CD	△ ∇ フォルダの頭出し
MP3/WMA	BLUETOOTH Audio	HDD MUSIC ※1
⏪ ⏩	⏪ ⏩	△ ∇ アルバム/ プレイリストの頭出し
⏪ ⏩	⏪ ⏩	△ ∇ プレイリストの頭出し
SD-Audio ※1	⏪ ⏩	△ ∇ プログラム/ プレイリストの頭出し
FM/AM	⏪ ⏩	△ ∇ FM/AMを切り換える
⏪ ⏩	⏪ ⏩	
デジタルTV	⏪ ⏩	
⏪ ⏩	⏪ ⏩	
⏪ ⏩	⏪ ⏩	
⏪ ⏩	⏪ ⏩	

※1 リモコン操作のみ

スライドカバーを開くと...

ホーム おでかけ
 デジタルTV
 ● ホームモード/
 おでかけモードの切換
 ・ホームモード:
 自宅周辺での
 チャンネル設定
 ・おでかけモード:
 旅行先などでの
 チャンネル設定

数字キー
 ● 数字の入力
 デジタルTV
 ● 選局する
 ・同じチャンネル番号に複数の放送局
 (枝番号)がある場合、続けて押すと
 切り換わります。

リモコン操作について

■ ジョイスティックで
 タッチキーの選択・決定ができます。

- 例: デジタルTVを選ぶ場合
- 1 リモコンのジョイスティックを
 上下左右(決定)に動かして
 デジタルTVを選ぶ
 - 2 決定を押す



■ 本体ボタン/タッチキーと同じ
 なまえのボタンで操作できます。

- 例: 番組表を選ぶ場合
- リモコンの 番組表 を押す



■ タッチキーに表示されている
 ボタンで操作できます。

- 例: 終了を選ぶ場合
- リモコンの 戻る を押す



■ 上記以外の操作は、本書では次のように説明しています。

例: P.100「番組内容を見る」の場合

番組内容を見る

番組内容画面

● 内容 番組内容画面に切換
 ● 属性 属性画面(詳細な情報)に切換
 ● 今すぐ見る 今放送中の番組の画面に切換
 (リモコン操作: 決定)

お知らせ

● デジタルTV表示中に、リモコンの 戻る を
 押しても現在放送中の番組内容を表示で
 きます。

お知らせ

- リモコンで操作できない場合は、タッチ操作してください。

準備する(確認・設定)

電源を入れる

1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)

- 本機の電源が入ります。
- パスワード認証画面が表示されたときは→P.29

2 警告画面の注意事項を確認して、**確認**を選ぶ



- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
 - ・オーディオ画面が表示されたときは、**現在地**を押すと、ナビゲーション画面(現在地)に切り換わります。
- 約10秒間操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のETC車載器(CY-ET909KDZなど)やDSRC車載器(CY-DSR110D)を接続すると、ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。(P.159)

お願い

- 現在地画面が表示されるまで、車を発進させないでください。(システムの起動準備中のため)

画面をOFFにする

ツートップメニュー(P.33)から

画面OFFを選ぶ

- 画面OFF設定(P.169)により、動作が変わります。
- 下記の場合、画面OFFが解除されます。
 - ・デジタルTVの緊急警報放送(EWS)を受信したとき
 - ・ハンズフリー接続時に電話がかかってきたとき

画面を表示するには

AUDIO | MENU | 現在地 | OPEN
のいずれかを押す

自車位置を確認する

初めて電源を入れたときやバッテリーを外したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSマーク(GPS)を確認する



- 時計が表示されます。
- 時計表示する/しないの設定 →P.169

2 **現在地**を押す

3 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する(60分以上)

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- GPSマークが表示されないときや、点滅が継続するときは、GPS情報(P.24)から受信状態を確認してください。

音量を調整する

ナビゲーションの音量を調整する

1 設定メニュー(P.33)から **ナビ案内音量**を選ぶ

2 <>で音量を調整し、**完了**を選ぶ

- 調整範囲：0~40(お買い上げ時の設定:20)
- **試聴**：音量の確認

高速走行時の自動音量切替を設定する

する/しないを選び、**完了**を選ぶ

- **する**：
時速80 km以上で走行時に、ナビゲーションの音声案内を自動で5ステップ大きくします。(お買い上げ時の設定)
 - ・音量設定が「0」のときは、音量は大きくなりません。
- **しない**：
高速走行時の自動音量切替を解除します。

お知らせ

- 音声案内を出力するスピーカーを設定するには→P.28
- ナビ案内音量は、本体ボタンの **+** **-** では調整できません。

オーディオの音量を調整する

+ **-** を押す



- **+** を押し続けると、1ステップ単位で連続して音量が大きくなります。
- **-** を押し続けると、3ステップ単位で連続して音量が小さくなります。
 - ・ハンズフリーの音量のみ、1ステップ単位で小さくなります。

お知らせ

- デジタルTV、DVD、ハンズフリー(通話音、発着信音)の音量は、他のオーディオとは別にそれぞれ記憶されます。
- SDビデオの音量は、デジタルTVと同じになります。

miniB-CASカードについて

地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

- 付属のminiB-CASカードの説明書および「使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- 「miniB-CASカードの取り扱いについて」もご覧ください。(P.13)
- 地上デジタル放送を視聴するには、付属のminiB-CASカードを本機に入れてください。
- miniB-CASカード裏面のカードID(B-CASカード番号)は、お問い合わせの際に必要な場合がありますので、メモしておいてください。(P.105「B-CASカード」でも確認できます)

miniB-CASカードを入れる

1 [OPEN]を押し、



を選ぶ

- モニターが開きます。

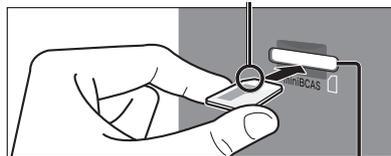
2 ふたを開ける



3 車のエンジンを切る
(ACCをOFFにする)

4 miniB-CASカードを
まっすぐに奥まで入れる

- 裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。
角がカットされた側を左に
(金色端子面が下)



miniB-CASカード挿入口

- miniB-CASカード以外入れないでください。故障や破損の原因となります。
- 使用中は、抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

5 ふたを閉める

6 車のエンジンをかける
(ACCをONにする)

- [CLOSE]を選んで、モニターを閉めてください。

miniB-CASカードを取り出す

1 左記「miniB-CASカードを入れる」
の手順1～3と同じ操作で、
エンジンを切った状態にする

2 miniB-CASカードの中央部を押す

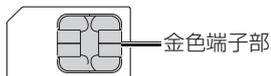


- ふたを閉めて車のエンジンをかけた後に、[CLOSE]を選んでモニターを閉めてください。

お願い

- 裏面の金色端子部に触れたり、汚したりしないでください。

mini-B-CASカード(裏面)



金色端子部

- miniB-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれています。
・画面にメッセージが表示されたとき以外は、電源が入った状態で抜き差ししないでください。
・電源が入った状態で抜き差ししたときは、3秒以上たってから、「B-CASカードテスト」(P.105)を行ってください。

モーターアンテナを操作する

モーターアンテナ車の場合、本機でモーターアンテナの操作ができます。

- フィットは固定アンテナのため、この操作は必要ありません。

準備

- ラジオアンテナ設定を「モーターアンテナ」にしてください。(P.27)

ツートップメニュー(P.33)から
上げる(下げる)を選ぶ



- FM VICS・FM多重放送・ラジオを受信するために、通常はモーターアンテナを上げてください。
- 立体駐車場などの天井の低い場所に入るときには、アンテナを下げてください。
- 電源を切ってもモーターアンテナの状態は記憶されません。アンテナを上げた状態で電源を切ると、アンテナはいったん収納され、次回起動時に自動的に上がります。

取り付け・配線を確認する

1 情報メニュー(P.32)からシステム情報を選ぶ

- システム情報画面が表示されます。



2 各項目を設定する → 右記

車両信号情報

取り付け/配線の状態を確認します。

- 詳しくは、取付説明書をご覧ください。

車両信号情報を確認する



リバース	シフトレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプが点灯すると、ON表示に変わりますか？
GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12V(11V~16V)になっていますか？
車速パルス	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル0」になります。走行後、数字が変化していますか？(レベル4が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後*1、「補正完」になっていますか？
3Dセンサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後*1、「補正完」になっていますか？

*1 あらかじめ自車位置が正しく補正されている必要があります。(P.20)

お知らせ

- スモールランプを消灯しても本体ボタンのイルミネーションは消えません。
- 次の場合にも、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号中継コードの接続を確認してください。
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出る場合があります。
- 速度をあげて自車マークが動かなくなっても、補正処理を行っている間は故障ではありません。

拡張ユニット情報

拡張ユニットの取り付け/配線の状態を確認します。

- 詳しくは、取付説明書をご覧ください。

拡張ユニット情報を確認する



固有番号
 ・万一、本機が盗難にあった場合の確認用番号です。

SDメモリーカード	別売のSDメモリーカードを入れると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
DSRCユニット	別売のDSRC車載器(CY-DSR110D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット	別売のETC車載器(CY-ET909KDZなど)を接続している場合、ON表示になっていますか？
iPod	市販のiPodを接続すると、ON表示に変わりますか？

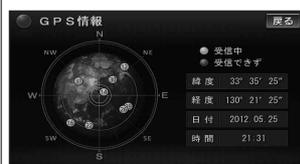
システム情報

GPS情報

見晴らしの良い場所で、受信状態を確認してください。

- 3つ以上の衛星番号が受信中になっていることと、緯度・経度が表示されていることを確認してください。

受信状態を確認する



お願い

- 常に受信中になっていない場合は、GPSアンテナの接続および取付位置を確認してください。(取付説明書)

HDD情報表示

HDDの空き領域などを知りたいときに確認してください。

HDDの状態を確認する



- ユーザー領域：ハードディスクのユーザー領域[曲を保存(録音)できる領域]の総容量を表示します。
- 使用領域：曲の保存(録音)に使用した領域の容量を表示します。
- 空き領域：曲の保存(録音)に使用していない領域の容量を表示します。
 - ・空き領域が少ないときは、不要な曲を消去してください。(P.115)
- 地図データ：使用している地図データのバージョンを表示します。
- Gracenoteデータベース Ver.: 本機に収録されているGracenote®データベースのバージョンを表示します。
- Gracenoteデータベース 更新Ver.: 更新したGracenoteデータベースのバージョンを表示します。

自車位置変更

自車がいる地点と地図上の自車位置が異なるときに調整してください。

- 通常、この操作は必要ありません。

位置を調整し、決定を選ぶ



☞☞で自車マークを進行方向に合わせて、決定を選ぶ

